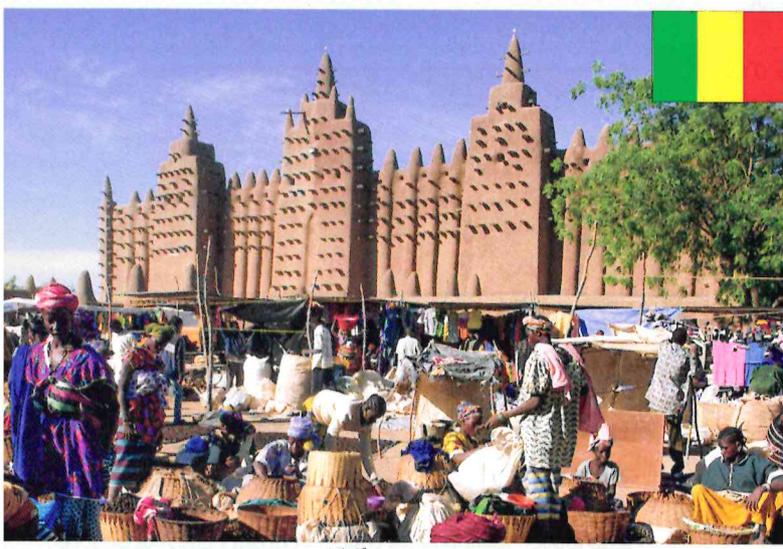


写真で眺める
アフリカ州



↑1キリマンジャロ山とシマウマの群れ(ケニア、ナイロビ近郊、10月) アフリカ最高峰(5895m)のふもとには草原が広がり、野生動物の楽園になっています。 ➡ p.82



↑3コーヒー豆を選別する人々(エチオピア、2015年11月) ➡ p.85、86

このコーヒー豆はどこの国に輸出されるのかな？



↑4ケープタウン港周辺の様子(南アフリカ共和国、ケープタウン、2016年) 白人による植民地支配の始まりとなった港です。現在は、買い物や食事が楽しめる商業施設が広がっています。 ➡ p.83、84

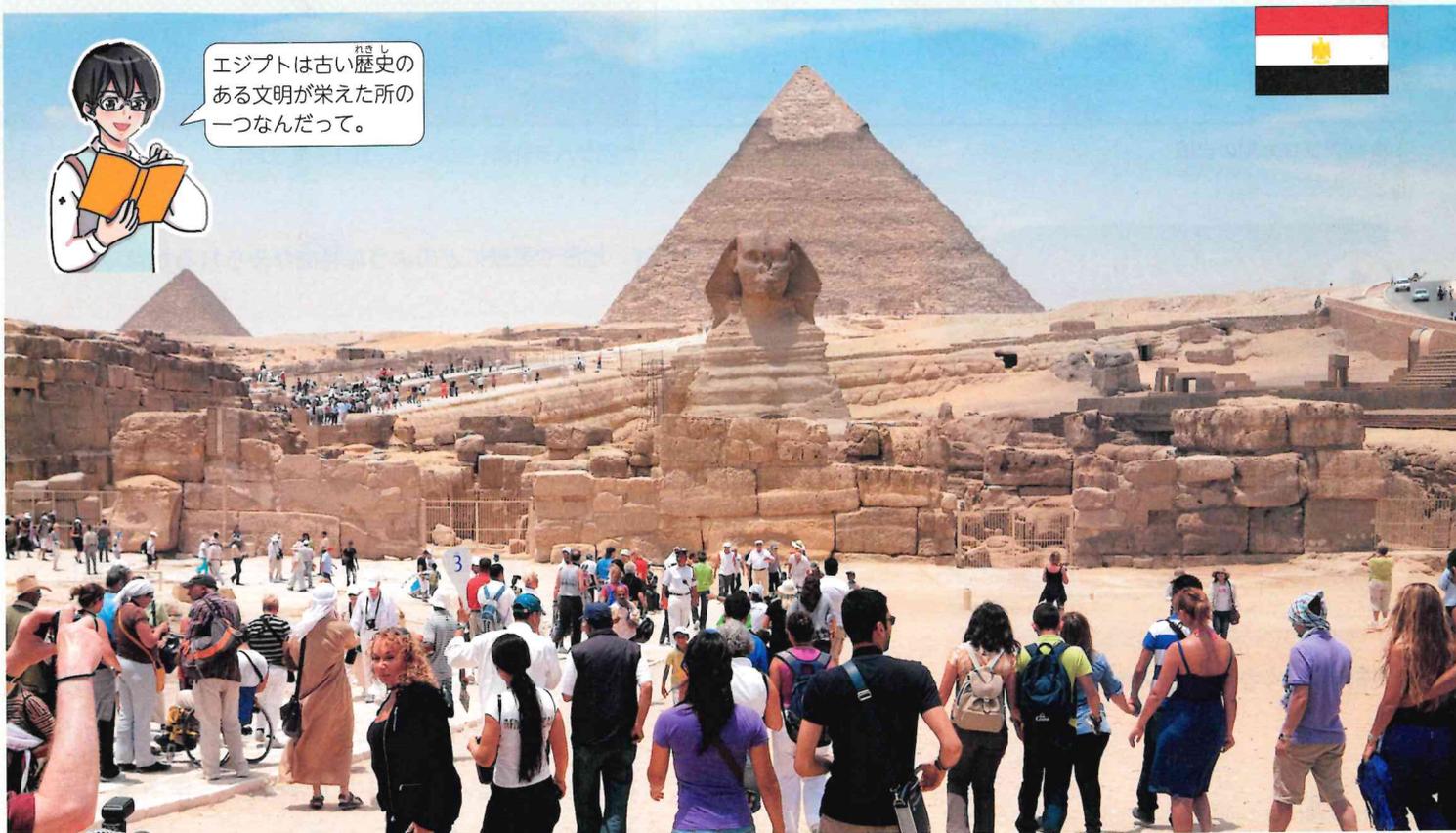


↑ **5** アフリカ最大級の都市ラゴスの市場(ナイジェリア、2021年)
 ↻ p.87



地図帳活用

アフリカ州の鳥瞰図を眺めよう。



エジプトは古い歴史のある文明が栄えた所の一つなんだって。

↑ **6** 砂漠のなかのピラミッドとスフィンクス(エジプト、ギーザ、2010年5月) ↻ p.82

アフリカ州の学習を見通そう

↻ p.89の振り返りでは、あなたの考える「写真で眺めるアフリカ州」をつくろう

この節では、特に写真**3**にみられるような「特定の産物に頼る経済」を主題に、アフリカ州がどのような特色をもつ地域なのか、学習していこう。

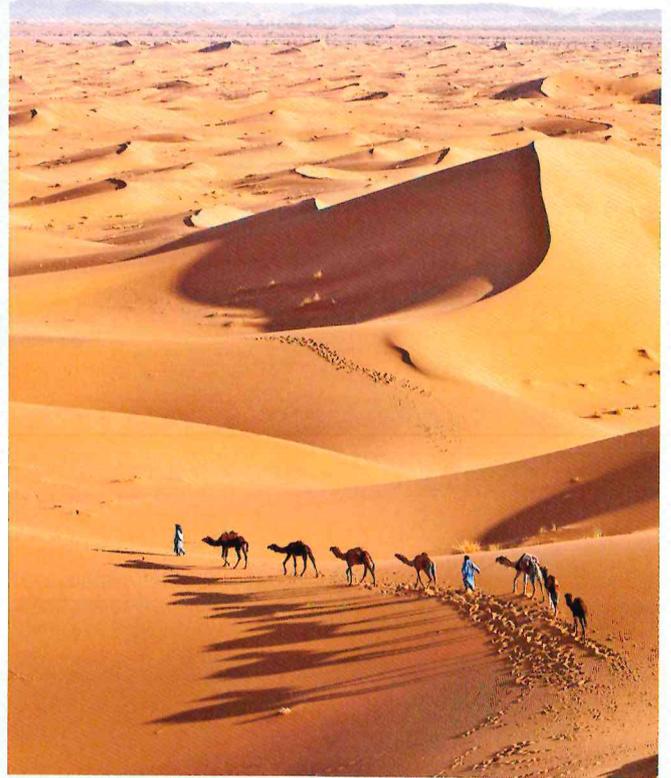
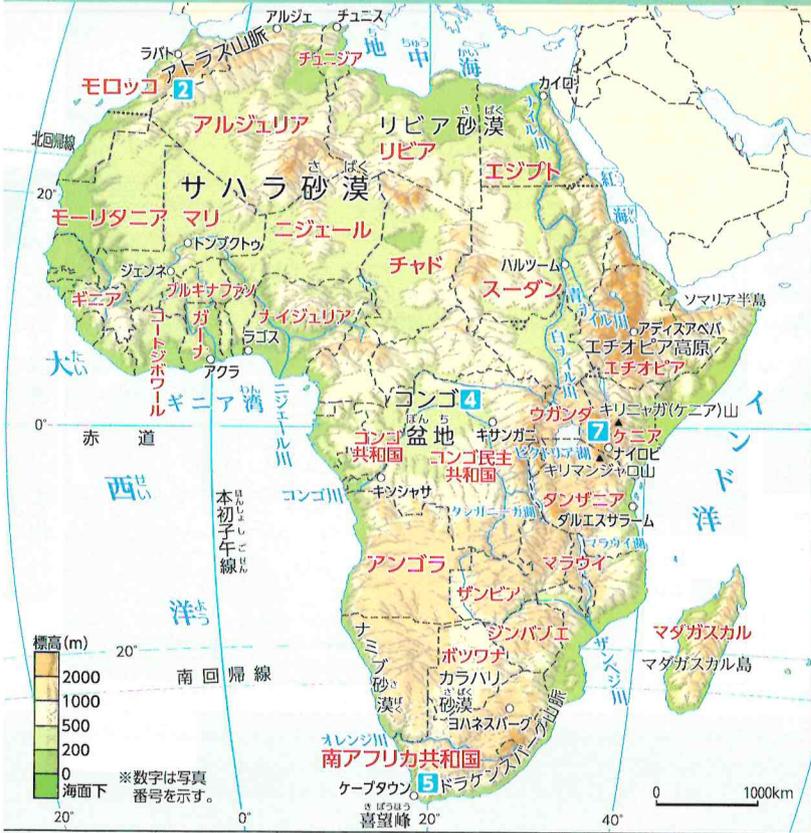
見直しスライド



注目する地球的課題：食料問題



3節の問い アフリカ州では、特定の産物に頼る経済によって、地域にどのような影響が生じているのだろうか。



↑1 アフリカ州の自然

↑2 サハラ砂漠 (モロッコ、2017年3月)

1 アフリカ州の自然環境

学習課題 アフリカ州は、地形や気候にどのような特徴がみられる地域なのだろうか。

高原や台地が広がるアフリカ州

アフリカは、赤道を挟んで南北約 8000km もあり、広大です。アフリカの大部分は高原や台地で比較的標高が高く、東部にはエチオピア高原のほか、キリマンジャロ山などの火山もみられます。

面積	オセアニア 6.5				
	アジア	ヨーロッパ	アフリカ	北アメリカ	南アメリカ
1億3009万km ²	23.9%	17.0	22.8	16.4	13.4
人口	オセアニア 0.6				
	アジア	ヨーロッパ	アフリカ	北アメリカ	南アメリカ
79億7510万人	59.2%	9.3	17.9	7.5	5.5

※ロシアはヨーロッパ州に含む。(2022年) [Demographic Yearbook 2022]

↑3 世界に占めるアフリカ州の割合

① 砂漠には、砂で覆われた所と、砂より粒の大きな礫や岩に覆われた所があります。世界の砂漠をみると、礫や岩に覆われた所が大部分を占め、サハラ砂漠でも砂に覆われた所は20%程度です。

アフリカの北側は地中海に面し、古くからヨーロッパとの交易により、町が栄えてきました。その地中海に流れ込むナイル川は、世界最長の川です。下流に位置するエジプトでは、毎年夏から秋にかけて川が氾濫することで、上流から栄養豊富な土が運ばれ、それを利用して農業が営まれてきました。アフリカ北部には、世界最大の砂漠であるサハラ砂漠が広がります。人々は乾燥に強いらくだを使って、砂漠の南と北を行き来したため、マリのジェンネのように、交易の拠点となった町が栄えました。



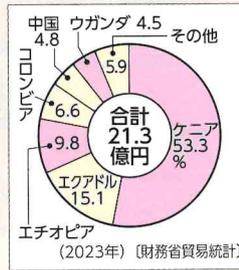
↑4 **コンゴ盆地の熱帯林** (コンゴ民主共和国、3月) 赤道直下のコンゴ盆地には、うっそうとした熱帯林が広がります。



↑5 **ぶどうの収穫** (南アフリカ共和国、ケープタウン近郊) ぶどうはワインに加工され、イギリスやドイツなどに輸出されます。

地理 プラス+ **高地で栽培されるケニアのバラ**

ケニアの高地では、涼しい気候を生かして、輸出用のバラの生産が盛んです。ここでは、赤道近くに位置していますが、標高が2000mほどあるため、1年を通して暑くも寒くもありません。高い冷暖房費をかけなくてもバラの花をいつでも栽培できるため、1980年代からビニールハウスでのバラの生産が盛んになりました。現在、ケニア産のバラは、航空機を使って、ヨーロッパや日本などをはじめ、多くの国に輸出されています。



↑6 **日本のバラの輸入先**

→7 **輸出用のバラの収穫** (ケニア、ナイロビ近郊、2020年11月)



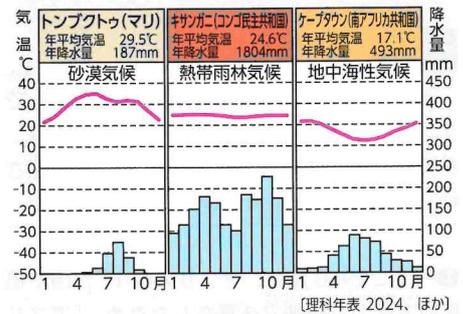
**赤道を挟んで
南北に対称な気候**

アフリカには、赤道付近の熱帯を中心として、南北に乾燥帯、温帯の地域が広がっています。

赤道近くのコンゴ盆地やギニア湾沿岸では、一年中雨が多く、熱帯林が広がっています。ここでは、いも類やバナナが栽培され、主食となっています。熱帯林が広がる地域の周辺は、雨季と乾季がはっきりと分かれているサバナ気候の地域で、低い木がまばらに生えるサバナとよばれる草原が広がり、ゾウやシマウマ、ライオンなどの野生動物が生息しています。

赤道から離れるにつれて、熱帯林から草原へ、そして砂漠が現れます。砂漠周辺の雨が少ない草原では、牛や羊などが放牧されます。サハラ砂漠の南の縁に沿ったサヘルとよばれる地域では、干ばつや人口増加によるまきのとりすぎ、放牧する家畜の増加などにより、植物が育たないやせた土地になってしまう砂漠化が進んでいます。

アフリカ北部や南部の乾燥帯や温帯の地域では小麦やとうもろこしなどが主食で、地中海沿岸やアフリカ大陸南端では、かんきつ類やぶどうも栽培されています。



↑8 **アフリカ州の主な都市の雨温図**

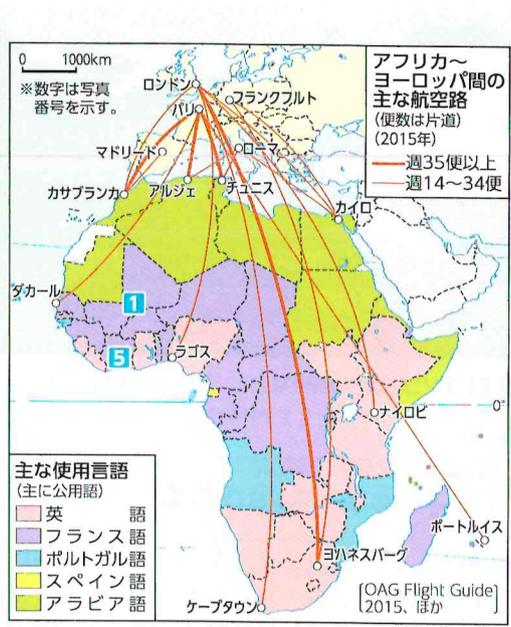
資料活用 降水量の違いに注目しよう。

地図帳活用

- ①アフリカ州で1年を通して降水量の少ない地域を確認しよう。
- ②サヘル周辺の砂漠化の進行状況を確認しよう。

確認しよう 世界最長のナイル川が流れる国、世界最大のサハラ砂漠が広がる国を、図1や地図帳で確認しよう。

説明しよう アフリカ州の気候の特徴を、赤道からの距離に着目して説明しよう。



↑1 フランスパンが売られる市場(マリ、モプティ)

↑2 主な使用言語と航空路 資料活用 写真1のマリの主な使用言語に注目しよう。

2 植民地支配の影響が残る産業

3節の問い アフリカ州では、特定の産物に頼る経済によって、地域にどのような影響が生じているのだろうか。

学習課題 アフリカ州の国々がたどってきた歴史は、人々の生活にどのような影響を与えているのだろうか。

解説 植民地 ほかの国(本国)に支配された地域のことです。第二次世界大戦前のアジアやアフリカは、多くがヨーロッパ諸国の植民地として支配され、本国への原料や資源輸出地とされました。

植民地支配の歴史と影響 金や象牙などの資源や珍しい産物が多いアフリカには、10世紀ごろから、イスラム教徒の商人が交易に来ていました。16世紀には、ヨーロッパ系の人々が進出し、アフリカの人々を奴隷として南北アメリカに連れていきました。そして、19世紀後半から20世紀前半にかけてアフリカの国々のほとんどは、ヨーロッパ諸国の植民地として分割されました。

① 特に1960年は、アフリカの17か国が植民地支配からの独立を果たしたため、「アフリカの年」とよばれています。

1960年代にアフリカの植民地の多くは独立しましたが、アフリカの国々は、現在でもヨーロッパと強いつながりがあります。例えば、かつてフランスの植民地であった国々ではフランス語が話され、教育や食文化などにもフランスの影響がみられます。また、植民地時代の境界の多くはそのまま国境となっており、同じ国内でも地域によって民族や言語、宗教、文化が異なる国も多くあります。

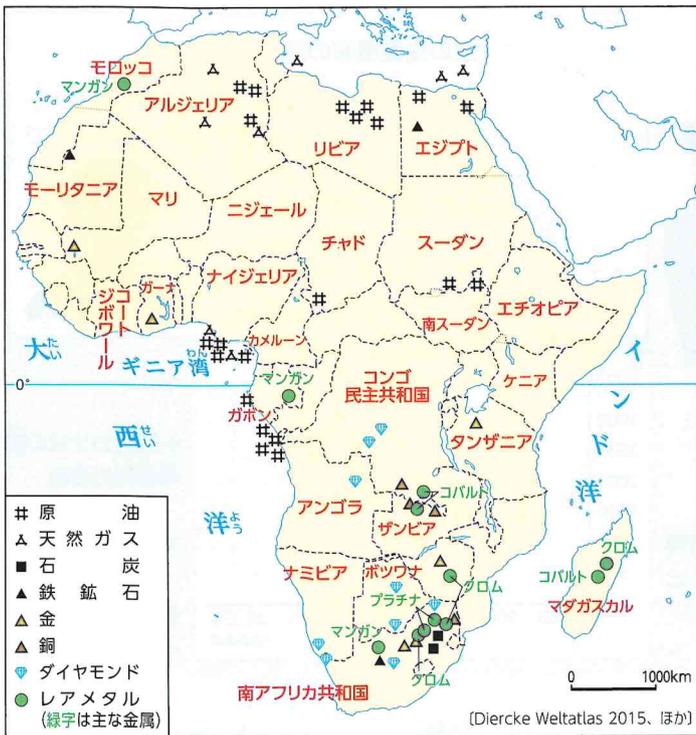
地図帳活用 植民地支配から独立した国とその年を確認しよう。

ナイジェリア	472億ドル(2021年)			
原油 76.2%	液化天然ガス 10.4%	その他 13.4%		
コートジボワール	天然ゴム 125億ドル(2020年)			
カカオ豆 29.1%	金 11.8%	8.3%	7.3%	その他 32.5%
カシューナッツ	石油製品 5.3%			
ザンビア	101億ドル(2021年)			
銅 75.9%	鉄鋼 2.2%	その他 21.9%		

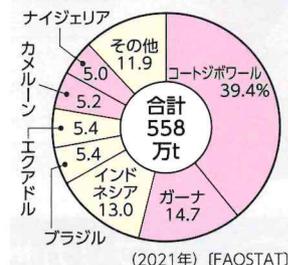
(UN Comtrade)

↑3 アフリカの主な国の輸出品

アフリカの言語や宗教は、サハラ砂漠の北と南で大きく異なります。北アフリカでは、主にアラビア語が話され、多くの人々がイスラム教を信仰しています。一方、サハラ砂漠より南の地域では、民族ごとにさまざまな言語が日常生活で使われています。植民地時代のなごりからキリスト教を信仰する人も多く、異なる民族どうしで会話する時には、英語やフランス語などが使われます。



↑5 カカオ豆を取り出す人々(コートジボワール、2018年8月) 摘みとったカカオの実の殻を棒やなたで割ってカカオ豆を取り出します。



→6 カカオ豆の生産国

輸出用に つくられる農作物
 チョコレートやココアの原料になるカカオ豆は、コートジボワールやガーナなど、ギニア湾沿岸の国々で世界の総生産量の半分以上が生産されています。カカオは、植民地時代にヨーロッパ系の人々によって、南アメリカから持ち込まれました。植民地支配から独立した現在も、農家の人々は自分たちが食べるいも類やバナナとともに、輸出用のカカオを栽培しています。このほかにも、ケニアのコーヒーなどが、輸出用に栽培され、重要な輸出品となっています。

進む鉱産資源 の開発
 アフリカは鉱産資源に恵まれており、植民地時代以降、資源開発が続けられています。現在でも南アフリカ共和国の金やダイヤモンド、ザンビアの銅などは、各国の重要な輸出品です。ナイジェリアやアンゴラでは、原油や天然ガスが外国企業と共同で開発され、重要な輸出品となっています。スマートフォンや自動車の部品などにも使われるレアメタルは、南アフリカ共和国などで採掘されています。近年では、豊富な鉱産資源や未開発の土地を求めて進出してきた外国企業に、広大な土地が購入されて開発されることで、以前から暮らしていた人々の土地が奪われる問題なども起こっています。

未来に向けて わかい 和解と協調を進める 人権・多文化
南アフリカ共和国

鉱産資源が豊かな南アフリカ共和国は、長期間、アパルトヘイト(人種隔離政策)によって、少数の白人が多数の黒人を中心とする非白人を支配してきた歴史があります。人種が異なる人との結婚は禁じられ、住む場所も人種によって決められていました。1994年に全人種が参加する選挙が行われ、黒人のネルソン=マンデラ氏が大統領になると、ようやくアパルトヘイトは廃止されました。異なる人種どうしの和解や協調、経済格差の見直しが進められていますが、現在でも貧富の差やわだかまりが残っています。

アフリカ州の多くの国で使用されている言語を図2や地図帳で確認し、三つ書き出そう。

植民地支配の歴史が、アフリカ州の人々の生活に与えた影響を一つ挙げ、説明しよう。

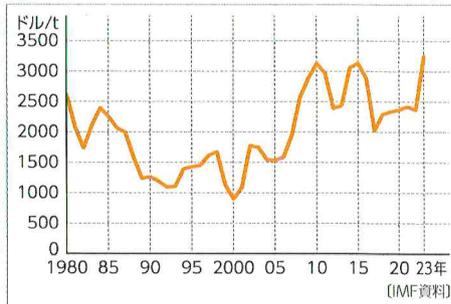


なぜ、フェアトレードの取り組みが行われるようになったのかな？

↑1日本で販売される国際フェアトレード認証商品とその認証ラベル(2023年)

声 カカオ豆の生産農家の話

カカオ豆は、チョコレートの原料として買いつけられ、外国へ運ばれていきます。その生産量や価格は時々で大きく変わるので、手間がかかるわりに、私たち生産者の収入は多くなく、生活は厳しいです。外国で製品化されるチョコレートは、私が暮らす国では高級品なので、食べたことはありません。



2 カカオ豆の国際価格の変動

対話 価格の変動が大きいと、どのような問題が生じる可能性があるのか話し合おう。

3

アフリカ州が抱える課題とその取り組み

3節の問い アフリカ州では、特定の産物に頼る経済によって、地域にどのような影響が生じているのだろうか。

地図帳活用

- 輸出総額のうち第1位の品目が占める割合の高い国を確認しよう。
- アフリカの国の日本への輸出品を確認しよう。



↑3干ばつによって作物が枯れた耕地(ジンバブエ、2019年3月)

1 アフリカの55の国と地域が加盟する国際機関です。アフリカ諸国や国民間の団結、アフリカの政治的・経済的・社会的な統合、平和や安全保障を目的に2002年に発足しました。



学習課題

アフリカ州の国々では、発展に向けてどのような取り組みが行われているのだろうか。

モノカルチャー経済の課題

アフリカの国の多くは、カカオ豆や銅、原油といった特定の農産物や鉱産資源の輸出に頼ったモノカルチャー経済の国です。これらの産物は、ヨーロッパやアメリカ合衆国、中国、日本などへ輸出されます。モノカルチャー経済の国では、天候の不順や災害などによる農作物の不作、特定の産物の国際価格の下落によって国の収入が大きく減ってしまいます。このため輸出品の種類が少ないと、年によって国の収入は安定しません。また、農産物や鉱産資源は加工されずに安い価格で輸出されるため、現地の人々の利益が少ないという問題もあります。そこで、より適正な価格で取引引きを行うことで、生産者の生活と自立を支えるフェアトレードの取り組みなどが行われています。

人口の増加と食料不足

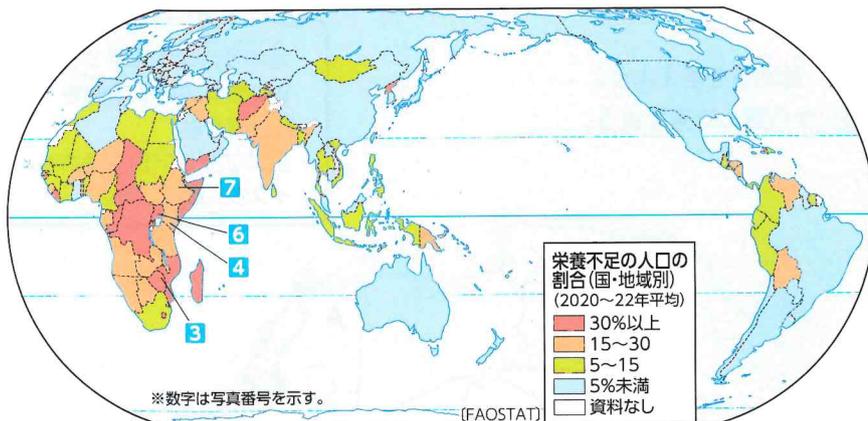
アフリカでは、特定の農産物や鉱産資源の世界的な輸出国になっている一方で、国民の主食となるとうもろこしやいも類、米などの生産が人口の増加に追いつかない国が多くみられます。こうした国々では、干ばつや砂漠化などの影響によって食料不足が頻繁に発生し、外国から穀物を輸入したり、国際機関による食料支援に頼ったりして、不足した食料を補っています。しかし、食料が公平に分配されないことも多く、十分な食料

アフリカでは、人々の暮らしや産業が、段階を踏まずに一気に進歩する「かえる跳び」とよばれる現象がみられます。例えば、固定電話が普及するよりも先に、大規模な設備が不要な携帯電話やスマートフォンが広く普及しました。また、ケニアでは、モバイル送金サービスがいち早く広まり、銀行口座をもたなくとも、出稼ぎに行った人から故郷に残った家族へ送金したり、電気や水道などの公共料金をスムーズに支払いできたりするようになりました。

広大な土地と豊富な資源があり、若い世代の人口が増え続けているアフリカは、今後のさらなる経済発展が期待されています。そして、近い将来、アジアに次ぐ巨大な市場になると予想され、世界の国々が注目しています。



↑4 街角の代理店で携帯電話を使って送金する人(ケニア、ナイロビ、2018年)



↑5 栄養不足の人口の割合 小 鹿 公



↑6 ネリカ米の栽培指導をする日本の JICA 海外協力隊の技術者(ウガンダ) 小 鹿 公 (佐藤浩治/JICA)

を得られずに栄養不足になる人々が多い地域もあります。こうした地域では、医療を十分に受けることができず、マラリアやエイズといった病気によって死亡する人が多いことも問題となっています。

発展に向けた
取り組み

アフリカの国々は、アフリカ連合(AU)をはじめとする国際機関をつくり、政治的・経済的な団結を強めています。そして、農産物の種類を増やす努力や工業化を進めるとともに、外国企業の誘致、観光産業や情報通信などの新たな産業にも取り組むことで、貧困から抜け出そうとしています。

また、国際的な取り組みとして技術支援や開発援助が続けられています。例えばウガンダでは、日本の国際協力機構(JICA)から派遣された技術者が、ネリカ米の導入や農業技術の指導などで活躍しています。このほか、中国の支援により空港や道路、鉄道などの建設が進んでいる国もあります。このような政府間の取り組みのほか、非政府組織(NGO)による保健・医療活動や食料支援、教育機会の提供など、人々の生活の質を向上させる支援も行われています。

② 病気や乾燥に強いアフリカ米と収穫量の多いアジア米を掛け合わせた新品種です。



↑7 中国の援助で開通した鉄道(エチオピア、アディスアベバ、2016年)

特定の産物の輸出に頼りすぎること
で生じる問題を、本文から書き出そう。

アフリカ州の国々の発展のために
必要な取り組みを説明しよう。



3節の問い 見方・考え方 地域の特徴 (→巻頭 8)

アフリカ州では、特定の産物に頼る経済によって、地域にどのような影響が生じているのだろうか。

節の振り返り1 学んだことを確かめ、節の学習内容を振り返ろう 知識 地図帳活用

1. A～Fにあてはまる国名を答えよう。
2. ㉑～㉒にあてはまる砂漠名、河川名、高原名、盆地名を答えよう。
3. ①～⑥にあてはまる語句を、「節の重要語句」から選んで答えよう。

北アフリカ(→p.83～84)

- ・地中海沿岸は温帯で、かんきつ類やぶどうを栽培
- ・小麦が主食
- ・主にアラビア語が話され、イスラム教徒が多い

サヘル(→p.83)

- ・干ばつやまきのとりすぎ、家畜の増加などにより、㉑が進む

ギニア湾沿岸(→p.85)

- ・BやCでは、カカオ豆の生産が盛ん

㉒盆地やギニア湾沿岸(→p.83, 85)

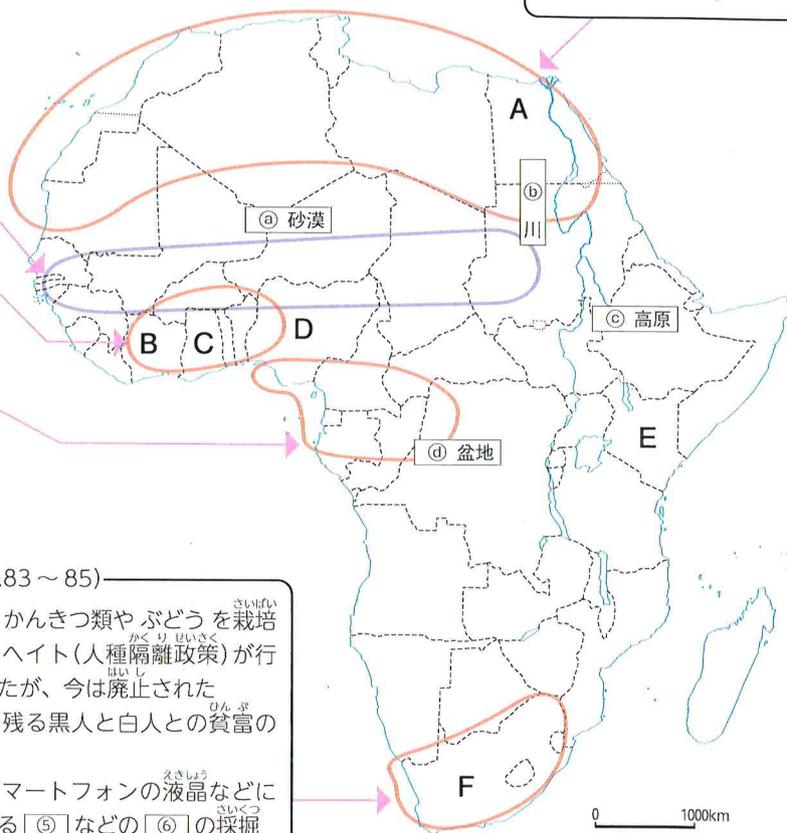
- ・一年中雨が多く、㉒が広がる
- ・いも類やバナナが主食

③ 支配の影響(→p.84～86)

- ・ヨーロッパの影響がみられる言語や食文化、宗教
- ・③時代の境界線がそのまま国境になっている国がある
- ・カカオや茶、コーヒーなど、輸出用の作物の栽培
- ・特定の農産物や鉱産資源の輸出に頼った㉒の国が多い

F(→p.83～85)

- ・南端ではかんきつ類やぶどうを栽培
- ・アパルトヘイト(人種隔離政策)が行われていたが、今は廃止された
- ・現在でも残る黒人と白人との貧富の差
- ・金や、スマートフォンの液晶などにも使われる㉒などの㉒の採掘

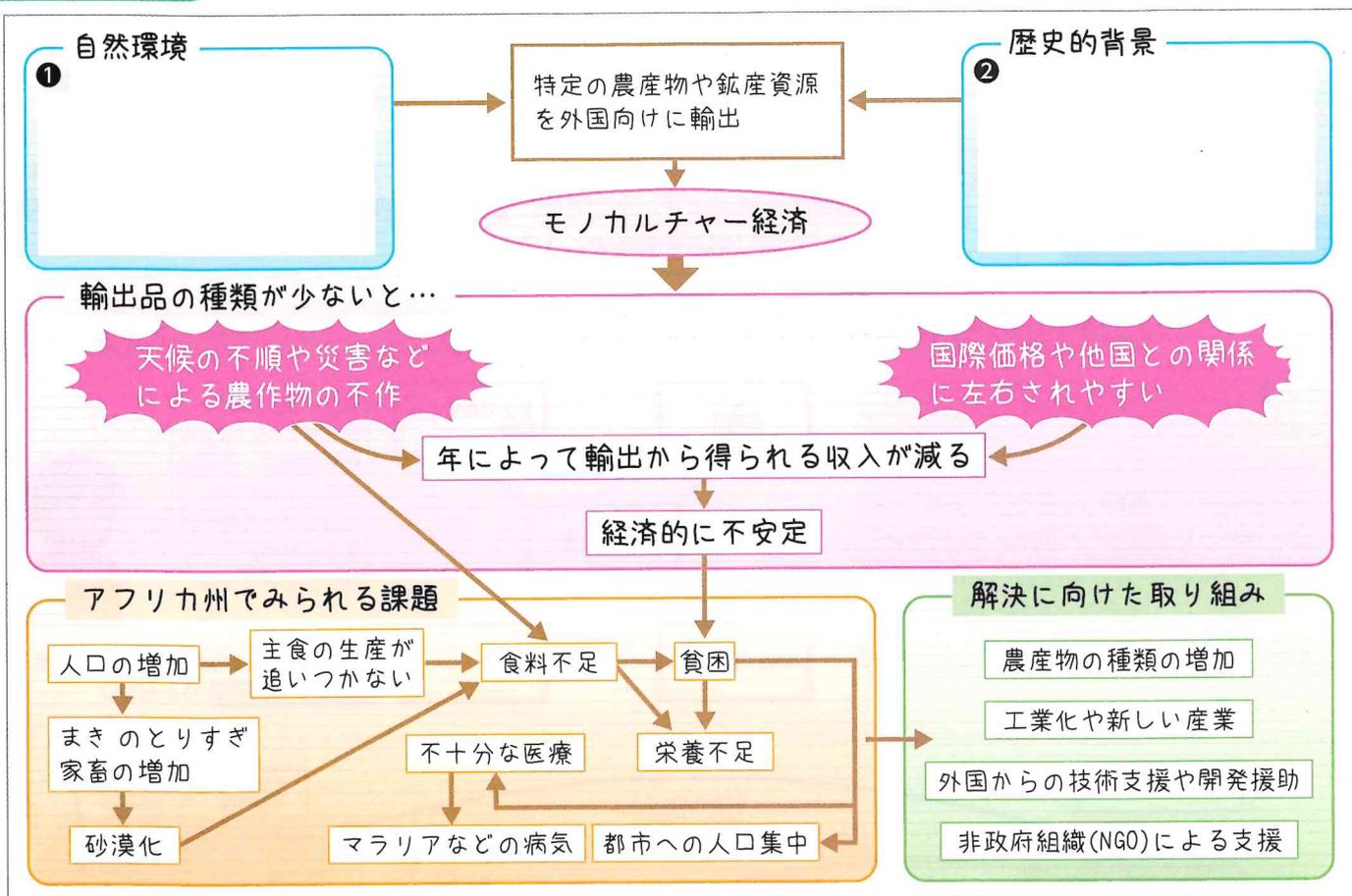


0 1000km

↑1白地図を使ったまとめ

節の重要語句 簡単な説明ができた語句にチェックを入れよう。

- | | | | | |
|--------------------------------|------------------------------|-------------------------------|------------------------------------|-------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> ナイル川 | <input type="checkbox"/> サバナ | <input type="checkbox"/> 奴隷 | <input type="checkbox"/> レアメタル | <input type="checkbox"/> 非政府組織(NGO) |
| <input type="checkbox"/> サハラ砂漠 | <input type="checkbox"/> サヘル | <input type="checkbox"/> 植民地 | <input type="checkbox"/> モノカルチャー経済 | |
| <input type="checkbox"/> 熱帯林 | <input type="checkbox"/> 砂漠化 | <input type="checkbox"/> 鉱産資源 | <input type="checkbox"/> フェアトレード | |



↑ 2 アフリカ州におけるモノカルチャー経済の背景と地域への影響をまとめた例 思考ツール 巻頭9 ウェビング

1 節の問いについて、図でまとめよう

◆この節の学習を振り返りながら、図2の①・②を埋めて、アフリカ州における、モノカルチャー経済の背景と地域への影響についてのまとめを完成させよう。

2 節の問いについて、考えを深めよう 対話

◆図2をもとに、アフリカ州のモノカルチャー経済とそれによる地域への影響を表す写真を、教科書やウェブサイトなどから1枚選ぼう。

◆グループになって、選んだ写真とその理由を発表し合おう。そして、あなたたちだけの「写真で眺めるアフリカ州(→ p.80 ~ 81)」をつくり、地域の特徴を示すタイトルをつけよう。

3 節の問いを踏まえて地域の特徴をまとめよう

◆図2と②をもとに、アフリカ州の特徴を文章で簡単にまとめよう。

3 節の問い

○ アフリカ州では、特定の産物に頼る経済によって、地域にどのような影響が生じているのだろうか。

○ **ヒント1** アフリカ州の経済の特色は？

○ **ヒント2** アフリカ州でみられる課題と解決に向けた取り組みは？

振り返り 主体的な学び

- 節の問いの解決に向けて主体的に取り組むことが
 - よくできた できた あまりできなかった
 - よくできた点や改善したい点などを書き出そう。
- 節の学習を終えて、新たな疑問や探究したいこと、深めたいことなどを書き出そう。

アクティビティ に挑戦 AL

課題解決に向けた取り組みを考えよう



ワークシートなど

見方・考え方
他地域との結びつき
地域の特徴

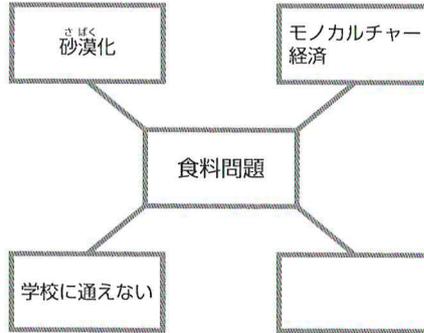
学習課題

アフリカ州は、若い人々が数多く暮らし、また、鉱産資源が豊富で、今後、ますます発展することが期待されている地域です。一方で、食料問題や都市・居住問題などの課題もみられます。ここでは、それぞれの課題の原因や背景を理解し、課題解決に向けた取り組みを考えましょう。

1 アフリカ州でみられる課題を振り返ろう

TRY1

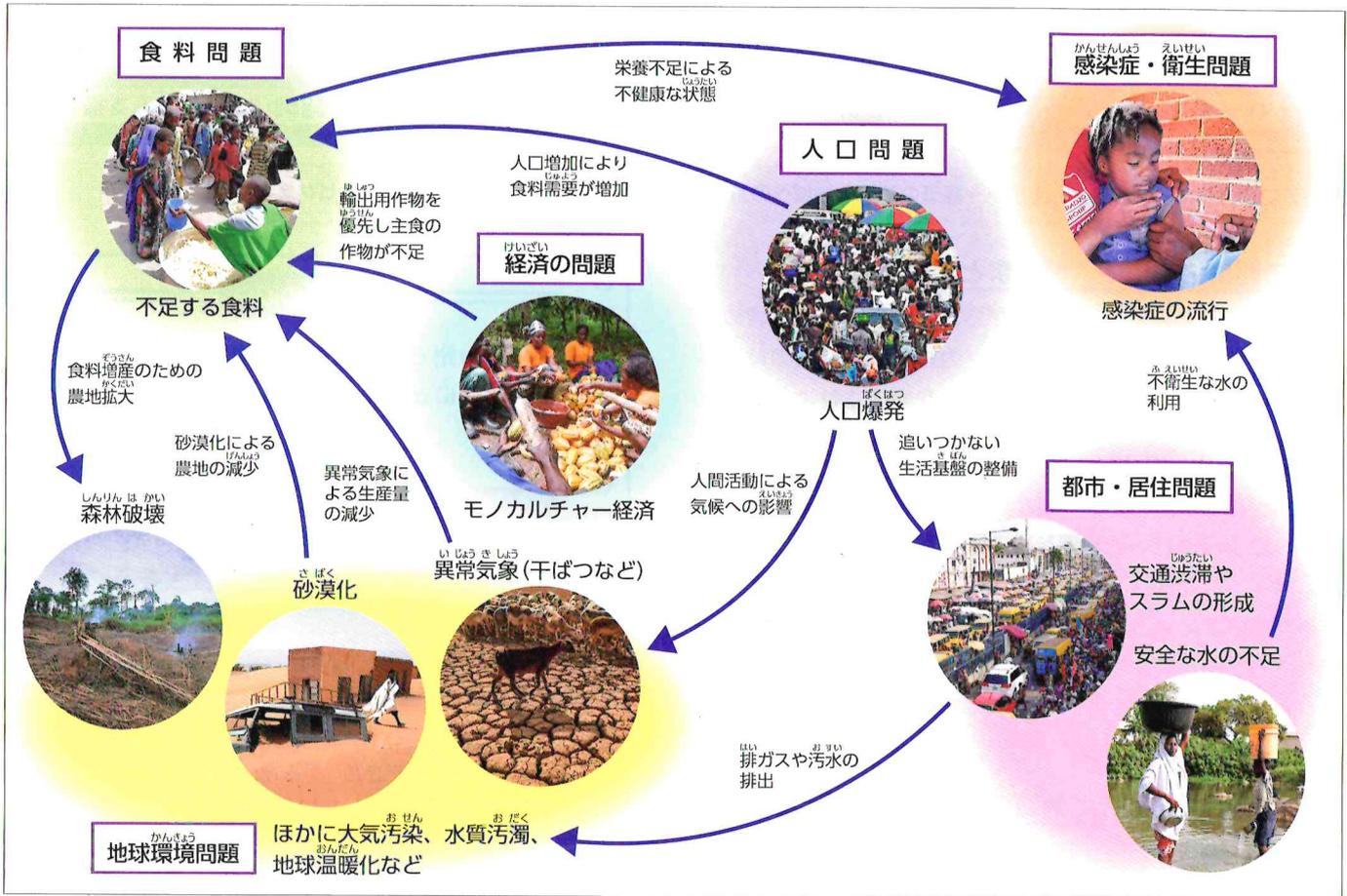
- 教科書や地図帳などを振り返り、アフリカ州でみられる課題をいくつか書き出そう。
- ①で書き出した課題のなかから、あなたが関心をもった課題の一つを選び、それぞれがどのような事象(ほかの課題や地域的な特色)と関連しているのか、図1・2を参考にまとめよう。



私は、食料問題を調べることにしたよ。食料問題は、砂漠化やモノカルチャー経済などとも関係が深そうだね。ほかにもあるかな？



←1 食料問題との関連をまとめた例
思考ツール 巻頭9 ウェビング



↑2 アフリカでみられる課題の例 それぞれの課題は関連し合っています。

2 課題解決に向けた取り組みを調べ、あなたの考えをまとめよう

TRY2

- ① TRY1 であなたが関心をもった課題や、それに関連する事象に対して、現在、「どこで」「だれが」「どのような」取り組みを行っているのか、図書室やインターネットなどで調べよう。
- ② ① で調べた取り組みは、持続可能な開発目標 (SDGs) とどのような関連があるのか、考えよう。
- ③ ① で調べた取り組みのなかで、あなたはどれを最優先と考えるか、順位づけしよう。また、その理由も書き出そう。

ESDラーズ
SDGs は、世界のさまざまな問題の解決に向けて 2030 年までに達成すべき目標として、2015 年に国際連合で採択されました (→巻頭 1~2)。どのような目標があるのか、確認しましょう。



リンク集



課題解決に向けた取り組みや SDGs との関連

取り組み①



↑③ サヘルを緑化する取り組み(セネガル、2019年8月) 砂漠化を防ぐために、サヘル(→p.83)の緑化を進める団体が、雑草を取り除いたうえで、乾燥に強い樹木を植林しています。



取り組み③



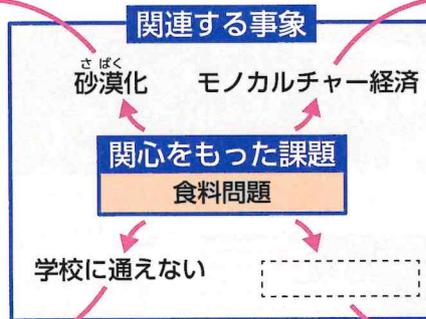
←⑤ 学校で給食を提供する取り組み(マダガスカル) 国連世界食糧計画(WFP)では、栄養価の高い給食を提供する取り組みを実施しています。子どもたちの通学頻度が高まることが期待されています。



取り組み②



↑④ フェアトレードの農園で働く人々(マラウイ、3月) この農園で収穫された茶は、フェアトレードの認証を受けた商品として販売されています。適正な価格で商品の取り引きが行われることで、生産者の生活と自立を支えています(→p.86)。



関連するSDGs

取り組み④

3 課題解決に向けて最優先で行う取り組みを考えよう

TRY3

- ① 対話 TRY2 の③で考えたことを発表しよう。そして、周りの人の発表を聞いて、何を最優先で取り組むことが大切か、取り組みどうしの関連に着目してグループで話し合おう。
- ② 関心をもった課題を解決するために、あなた自身にできることがないか、考えよう。

食料を支援すれば、一時的な解決にはなりそうだけど、関連する課題も解決しないと、本当の解決にはならなそうだね。



振り返り

- アフリカ州にみられる課題の原因や背景を踏まえ、課題解決に向けた取り組みを考えることができた。
- 根拠を明らかにし、自分の意見を表現できた。